SPEAKER SYSTEM

D-102ACM

ONKYO®

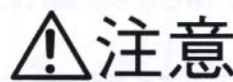
取扱説明書

安全にご使用いただくために。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いします。
お読みになったあとは、保証書、オンキョーサービス網一覧表とともに大切に保管してください。

ご使用の前に

この取扱説明書では製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電、アンプの故障の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 改造しない

●本機器を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 水の入った容器を置かない

●本機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

●万一、機器の内部に水などが入った場合は、まずアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まずアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●20Kg以上の機器は非常に重いので、開梱や持ち運びは必ず二人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。

●移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。けがの原因となることがあります。

●移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、スピーカーコードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

●本機器の上にテレビやオーディオ機器などをのせたまま移動しないでください。倒れたりして、けがの原因となることがあります。

●本機器の上に10Kg以上の重いものや外枠からはみでるような大きなものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機器を他のオーディオ機器や、テレビ等の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

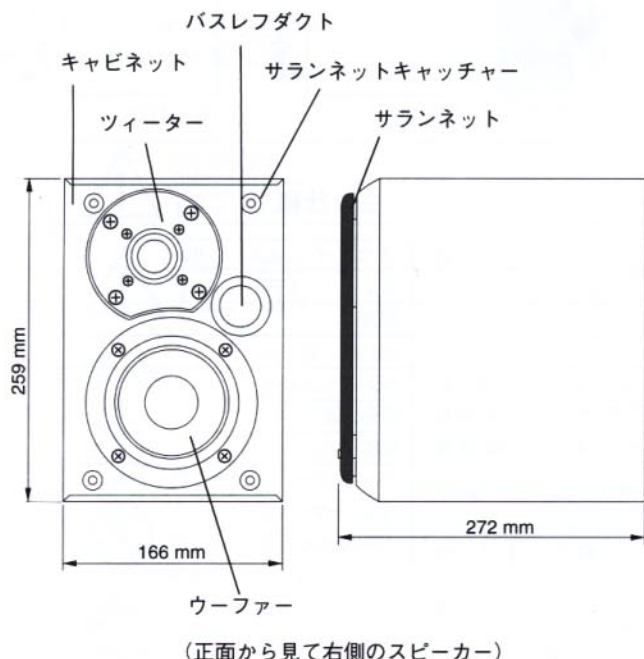
●スピーカーの上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

ご使用になる前に

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや 暖房器具の近く、浴室や台所の近くなど、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。傾斜した場所や強度の低い台等に設置すると転倒や落下の危険があるだけでなく、音質的にも好ましくありません。
- 接続は必ずアンプの電源を切ってから行ってください。電源を入れたままで行いますと、スピーカーやアンプを破損することがあります。

各部の名称

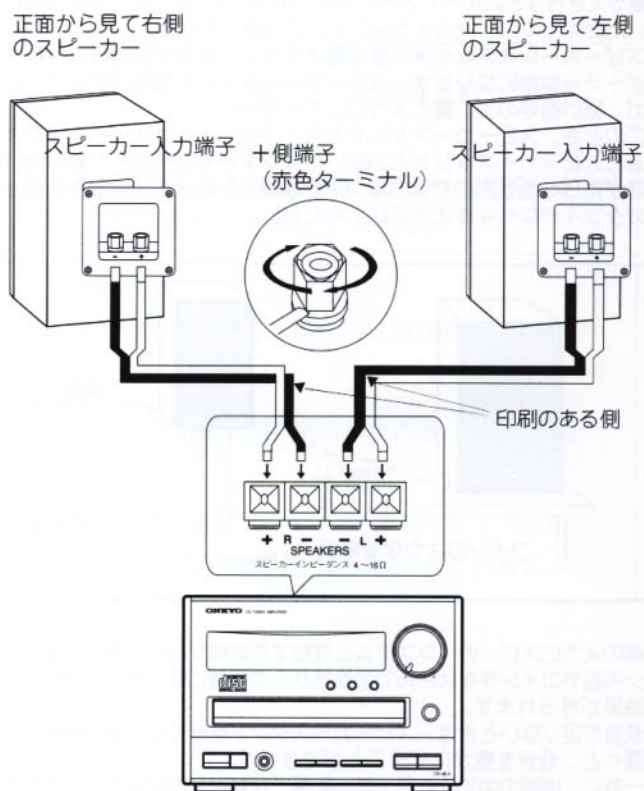
（正面から見て右側のスピーカー）

取り扱い上の注意

- 本機は通常の音楽再生には表示の許容入力に十分耐えますが、次のような特殊な信号が加えられますと、最大許容入力以下でも過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが同調していないときのノイズ
② テープレコーダーを早送りしたときの音
③ 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
④ アンプが発振しているとき
⑤ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
（抜き差し時は必ずアンプの電源を切ってから行ってください）
⑦ マイク使用時のハウリング

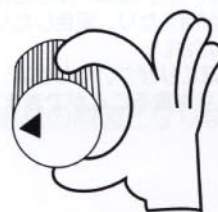
- 本機のツィーターには強力な磁石を採用していますのでドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

接続のしかた

- 本機とアンプを接続するとき、アンプのボリュームは出力最小に、電源スイッチ(POWER)はOFFにしたのち、コードを接続してください。
- 本機の公称インピーダンスは4Ωです。接続するアンプはそれに適したものをご使用ください。
- 本機は左右対称型となっています。バスレフダクトが向かって外側となるように設置してください。
- 本機裏面の入力端子とアンプの出力端子を、付属のスピーカーコードで次の図のように接続してください。
スピーカーコードは、品名など印刷のある方が －（マイナス）側です。
- 正面から見て右側のスピーカーは、アンプ出力端子のR(右)に、左側のスピーカーは、L(左)に接続してください。

アンプの電源スイッチを入れる前に

- スピーカーコードの ＋、－ がショート（接触）していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。
- スピーカーコードの ＋、－（極性）、L（左）R（右）を間違えないでください。極性を間違えると、低音感が損なわれて音の定位が定まらなくなります。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

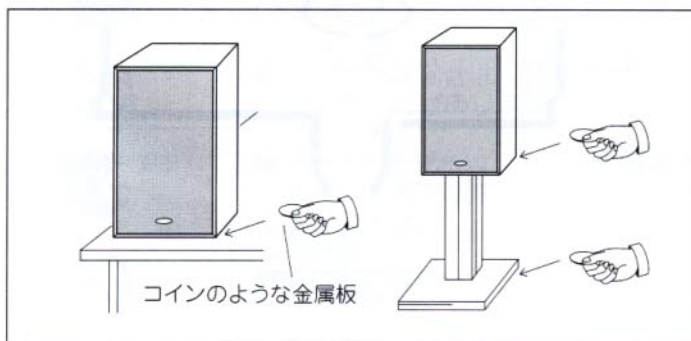
ステレオ、音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

テレビを組み合わせるとき

一般にカラーテレビ等に使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですから普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機のスピーカーユニットは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、カラーテレビなどとの近接使用が可能となっています。
ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合はスピーカーをさらにテレビから離してください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

スピーカーシステムの設置場所について

スピーカーシステムの音質は、それを設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音で音楽を楽しんでいただくために、次のようなことにご注意ください。

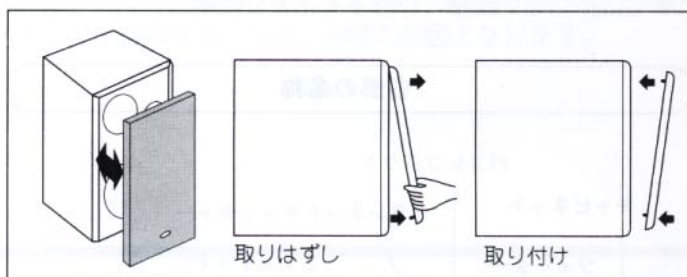
- スピーカーシステムを床に直接置きますと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- このとき、スピーカースタンドと床との間、またはスピーカーシステムとスピーカースタンドとの間にガタツキがありますと、質の良い低音が得られませんので、コルクまたはコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

- 棚のようにスピーカーシステムと接触する面積が広いときは、間にコルク円板やコイン等をはさんで面接触から点接触に変える方が一般に良い結果が得られます。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 一般に、部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、ステレオ再生の場合、良い結果になります。極端に違うと、左右の音のバランスが崩れることがあります。
- お聴きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーシステムを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーシステムの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

お手入れ

キャビネットは、時々シリコンクロスまたは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。
サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか、ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

サランネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネットキャッチャーに合わせて押し込みます。

主な仕様

形式	2ウエイ　バスレフ型
インピーダンス	4Ω
最大入力	80W
出力音圧レベル	89dB／W／m
再生周波数範囲	50Hz〜35kHz
クロスオーバー周波数	2.5kHz
キャビネット内容積	6.8 ℓ
使用スピーカー	ウーファー：12cm　コーン型 ツィーター：2.5cm　ドーム型
外形寸法	166(W)×259(H)×272(D) mm （サランネット、突起部含む）
重量	5.3Kg
付属品	スピーカーコード(MONSTER CABLE：MONSTER XP)2.5m×2、取扱説明書、保証書、オンキヨーサービス網一覧表
その他	防磁設計（EIAJ）、左右対称型

アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付しています。保証書は販売店でお渡し致しますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
3. 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。
4. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービスセンターにお問い合わせください。

artistry in sound
ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社／大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572

アフターサービスのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎0720(32)1616